



大 幼



令和4年度
園長だより No.1
令和4年4月22日

「始業式」・「入園式」 附幼令和4年度がスタート！



今年度の園長通信は、大きく・温かく・豊かさを作り出す^{たいよう}太陽と大分大学教育学部附属^{たいよう}幼稚園、を重ねて「大幼」としました。どうぞ一年間よろしくお願ひします。

さて、4月8日（金）令和4年度の園児たちの新生活が始まりました。新任の先生方の紹介を終え、附属幼稚園の歌を園児たちは元気に歌ってくれました。その後の外保育の時に、年長さんの中に「サトウ園長先生」と声をかけてくれたお友だちがいました。温かな歓迎の言葉をもらったようでした。

4月14日（木）令和4年度の入園式でした。あいにくの雨模様でしたが、晴れ晴れした気持ちは、天気に負けていませんでした。コロナウイルス感染症予防の取組から、年中さんと年少さんに分かれての2部構成で実施されました。園児たちは、期待や不安で小さな胸をいっぱい膨らませたことだと思います。

さて、今週で学年ごとの保護者会を終えましたので、いよいよ附属幼稚園の教育活動が本格化していきます。忙しい中たくさん時間を割いてくれた保護者の皆様に感謝を申し上げます。これからこの充実した教育環境をバックグラウンドにして、本園の教育目標である「主体的に生きる子どもの育成」を目指したいと考えていますので、保護者の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

あいさつはだれのため



毎朝園門前で交通安全と共に朝の挨拶をしています。はっきりした声であいさつをする子、私より先にあいさつをしている子、遠慮がちにあいさつをしている子など様々な挨拶の仕方があります。

私はたくさんあいさつしますので、朝の旗振りが終わるとちょっとのどがカラカラになりますが、なんだかすがすがしい気持ちです。それは、私自身が心を開いて声を出していることと、その声に皆さんが応えてくれているという安心感があるからだと思います。

たくさんあいさつしている私は、朝から得しているなあと感じています。始業式には魔法の言葉「ありがとう」を通して挨拶の話をしています。これから点（朝のあいさつ）が線（いつでもどこでもあいさつ）になって面（コミュニケーション上手）へと発展することを願っています。

